

平成 28 年度 事業 報告 書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業の成果

平成 24 年 6 月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートする」ことを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ州ミャウンミャタウンシップの 12 の村で平成 27 年 1 月から巡回診療を開始し平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月末までに延べ 2033 人の受診者を得、261 人の病人を関係医療施設へ搬送した。この間にはミャンマー人医師の不在の時期が 6 か月存在した。また、保健衛生指導（ヘルストーク）というバランスの良い栄養をとる大切さや手洗いなどの保健衛生啓発活動を巡回診療の合間、及び週 1 回行う住民との話し合いで行い約人の参加者を得ることができた。話す保健衛生の内容は、熱中症やテング熱など季節により発生の高い疾患の予防から家族計画、手洗いの大切さ、トイレにフタをする大切さなど多岐に渡り、住民に予防医学の重要性を理解する一役を担った。毎回行う「ビレッジミーティング」では住民の問題点を探り、翌週の活動に反映させた。平成 27 年 12 月に地域保健推進員の育成を 5 日間行い 6 名の推進員が誕生し、その後 MFCG のメンバーの一員として彼ら自身が保健衛生の大切さを住民に広めている。その成果はその村でテング熱の患者が 1 人も罹患しなかったことが挙げられる。菜園に関して、12 の村のうちモデルケースとなる 1 つの村において 7 月末と 8 月に専門家と提携して家庭菜園レベルで有機野菜の栽培の方法について 3 日間の講義とその 2 週間後の 3 日間の実践を行った。参加者は 4 人であったが平成 27 年 12 月の受講者とチーム体制をとることで、お互いの問題点などが明確になり、自分たちで問題解決を行う一端を担っている。中々 1 部の人には継続が難しいが、収穫は増え、収入も増加した参加者もいる。さらに、今年他村でも月に催行し、現在はその成果を待っているところである。その他、3 月には日本に住んでいるミャンマーを対象に健康相談会を主催し、52 人のミャンマー人が受診した。また、ミャンマーと日本の交流を深め、かつ支援者の輪を拡大するために定期的な講演会やミャンマー人と日本人との親睦会などを行なった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
A) 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1 巡回診療(移動クリニック)ならびにヘルストーク(保健衛生)啓発活動	平成 28 年 4 月 1 日 - 平成 29 年 3 月 31 日 計回	ミャンマーエーヤワディ州ミャウンミャタウンシップ	4 人	約 2033 人 (MC) 約 3546 人 (HE)	1014

2. 活動報告会 (MFCG 主催イベント、 MFCG スタディーツアー 説明会など)	平成 29 年 3 月 25 日	文京シビック ホール会議 室 1 & 2	約 20 人	約 65 人
	平成 28 年 11 月 29 日 計 3 回		約 4 人/ 回	約 12 人
	平成 29 年 1 月 21 日	ポバテイ ー・インク 鑑賞会	10 人	約 30 人
	平成 28 年 3 月 11 日 他計 24 回		1 人	約 30 人/回
4. 活動啓発活動 (参加イ ベント・インタビュー雑 誌掲載など)	平成 28 年 11 月 26 日 27 日	増上寺 (東 京港区) ミ ヤンマー祭 り	1 人	不特定
	平成 28 年奇 数月号掲載寄 稿文 計 6 回	鎌倉朝日新 聞	1 人	不特定
	平成 28 年 7 月 5 日	埼玉成患病 院 (埼玉 東松山)	1 人	約 120 人
	平成 28 年 4 月 13 日	教育ジャー ナル (学研)	1 人	不特定
	平成 29 年 2 月 1 日	ニッポン放 送取材	1 人	不特定
	平成 29 年 2 月 15 日	日本経済新 聞 キャリ アの扉掲載	1 人	不特定
	平成 28 年 11 月 28 日	愛知県立大 学地域連携 センター	1 人	不特定

B)社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 巡回診療(移動クリニック)ならびにヘルストーク(保健衛生)啓発活動	平成 28 年 4 月 1 日 - 平成 29 年 3 月 31 日	ミャンマー エーヤワ デ イ州 ミヤウ ン ミヤタウ ン シップ	約 4~6 人	約 2033 人 (MC) 約 3546 人 (HE)	6822
	2 MFCG 主催無料健康相談会	平成 29 年 3 月 5 日	早稲田奉仕園	約 30 人	約 52 人	
C)災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1、水害被害への緊急物資支援	該当なし				
D)食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1 専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	平成 28 年 7 月 26 日 - 28 日 (講習)	ミャンマー エーヤワ デ イ州 ミヤウ ン ミヤタウ ン シップ	2 人	4 人	317
		8 月 9 日 - 11 日 (実習)	カンコース村			
		平成 29 年 1 月 17 日 - 19 日 (講習)	ミャンマー エーヤワ デ イ州 ミヤウ ン ミヤタウ ン シップ	2 人	1 人	
		2 月 9 日 - 11 日 (実習)	モジョーパ ン村			
E)生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創	1 専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	2 人	5 人	D)に含む

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)

平成 28 年度 事業報告書

< 報告期間 >

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

事業の成果

1. 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業

① ミャンマー事業として

1) 12 の村を巡回する移動クリニックを延べ 41 回行い、計 2033 人の受診者を得た
さらにヘルストークを計 42 回行い、延べ 3546 人の参加がありました。

平成 28 年 12 月に評価を行い、住民の 30-50% の人々の手洗いなどの保健衛生に関する
認識の改善を確認しています。

※巡回診療は雇用していたミャンマー人医師 Dr. Yee Yee Thwe がご自分の次の夢に向か
って 2016 年 3 月 31 日に MFCG を退職しました。その後、経験豊富な医師の雇用を進め
ていきましたが、ヤンゴンから遠方という活動地の地理的条件の不利さなどからスキルがあ
るミャンマー人医師の雇用が大変難しく、8 月中旬まで適切な人材を雇用することが不可
能な状況でした。この問題は 8 月に解決し、現在ミャンマー人医師 Dr. Yin Su Khine が新
しく仲間に入り活動に専念しています。また、対象としている 12 の村のうち半分の村はカ
レン族という少数民族でビルマ語が理解できない人もいます。8 月から新規にポーカレン族の
Nyi Nyi Moe という正規準助産師を雇用しました。このおかげで、巡回している村の人た
ちと関係が一層良くなりました。しかし、6 月は巡回診療車の故障が生じ、ヤンゴンでの修
理が必要と診断され、きちんとした修理に約 1 か月近くかかってしまいました。車は、7 月
12 日にヤンゴンから無事に戻り、雨季に活躍しています。

上記のような状況から、3 月 1 日～31 日までは既存のミャンマー人医師と共に巡回診
療とヘルストークを行い、4 月 1 日～8 月中旬まで現地の巡回診療は団体の代表・名知
と現地採用正社員の看護助手である Khin Swe Swe Oo の 2 名だけで寄生虫の予防方
法や石鹸での手洗いの重要性などの保健衛生の啓蒙活動（ヘルストーク）を中心に行い
ました。

さらに、その間の 5 月、ミャンマーで歯磨きの啓蒙活動を行っています、子供専門の
歯科医師の松本先生と連携し、特別にモージョーパンとカンコーズという 2 つの村で
徹底的に齲歯予防の啓蒙活動を行いました。5 月 23 日 25 日にモージョーパンで反復
した歯磨き啓蒙プロジェクトを行い、さらに 5 月 24 日 26 日にはカンコーズで行い、

最終日の 27 日には、カンコースで MFCG が 2015 年 12 月に育成した CHP（地域保健健康推進員）が村の住民を指導できるようになるまで行いました。

ただ、目標としていた「CHP」の人材育成に関して、2015 年 12 月に育成した 5 名に対し 3 月 3 日に復習講義実地しましたが、新に別の村で第 2 回目を実地できていません。

しかし、シエタンという別の村で石鹸を使うなどの保健衛生活動が順調に啓蒙されていないという話が出たときに、第 1 回目で育成したカンコースのヘルス・エドゥケーター 5 名がシエタンという他の村の支援をしたいと申し出たため、8 月 24 日にシエタンの代表 2 名にカンコース村まで来てもらい、2 つの村で住民の保健衛生への関心をどのように持ってもらえるか？などの話し合いを行いました。今回、初めて自主的に村の住民自身からこのような会議の申し出があり、行われました。

MFCG は普段、巡回診療中に行うヘルストークは学校がある村であれば学校の先生の許可を得て小学校を中心に講習をさせていただきます。今回特別に 3 月 22 日にミヤウンミヤの寺院に寝泊まりし学んでいる子坊主さんを対象にさせていただきました。

② 国内事業として

1) 活動報告会

毎年 3 月第 4 土曜日に開催しています、MFCG 活動報告会を文京シビックホール会議室 1 & 2 にて開催しました。また平成 28 年度は依頼講演も、計 24 回あり、その他にニッポン放送や日経新聞などにも取り上げられました。MFCG の活動が広まっていきました。

2. 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業

① 平成 28 年 1 月 28 日から巡回診療（移動クリニック）を開始し、12 の村を 2 ヶ月半で一巡するペースとし、進めました。診療を受けにくるのは村の住民は季節移動労働者がほとんどのため女性が多く診療を待つ時間を利用して、手洗い方法や栄養のバランスの話（ヘルストークといいます。）をして保健衛生啓発活動を頻回に行いました。なぜなら今までに彼らにはそのような知識を得る機会がなかったからです。また診察後、受診者に内服薬を手渡すときには、目の前で実際に内服して頂き、お母さんたちには薬剤の服用指導も併せて行いました。毎週金曜の 1 日を村の各層の人びととの話し合いの場として、「ビレッジミーティング」を設けました。話し合いの目的は、村人の生活環境や健康であり、その時々困っている事について質問を投げかけながら、感染症の予防や栄養改善のためのアドバイスをしています。移動クリニックを開始してみ

てビタミン B1 不足による脚気が多いことが判明しました。脚気は死に至る病気です。その為、ビタミン B1 不足を改善する方法として①主食の米の研ぎ回数を少なくする。②研ぎ汁を捨てないで飲んでもらう、ことを実践していくことにしました。住民に理解し納得してもらうことは中々理解が得られず、豚のえさになってしまうことが多く見受けられました。

② 地域健康推進員の育成（CHP）平成 27 年 12 月 14 日—18 日までカンコースという村で行い、その 3 ヶ月後の平成 28 年 3 月 3 日に振り返りの一日講座も再度開催しました。この時に育成した CHP のメンバーの活躍は目覚ましく、彼らがリーダーとなり、村の人々の保健衛生指導を率先して行っています。特に今年は環境改善に力を入れ、村の中のゴミ拾い、ごみ箱の自主的な設置にまで発展しています。

3. 災害その他の緊急事態に対する救援、復興支援および防災事業

今年度は該当事業なし

4. 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業

移動クリニックの中と週 1 回行う「ビレッジミーティング」において、野菜を食べることの必要性がどのように理解されているのか、家庭菜園作りへの関心がどの程度あるのか、菜園を始めるにあつたての障害は何か、などを話し合いました。そこで得た結果からまずは家庭菜園づくりから始めることを考え、平成 28 年 7 月に講義 3 日間、実習 3 日間の有機野菜栽培の講習を専門家と連携して行いました。

モデルケースの村、カンコース村で希望者を募り、8 人の応募があり、そのうち 4 人を選定して行いました。平成 28 年 7 月 26 日—28 日に講義を、8 月 9 日—11 日に実習を行いました。講師は、シャン州から元地球市民の会の講師を招聘しました。

実習では実際に木酢酸やぼかしを作成し、レタス、きゅうりなどの栽培を実践。無農薬のため甘味が増し、健康にも良いと評価が高いです。ただ、販売路の開拓が必要で、そのために、販売するための車が欲しいという要望があります。また、第 3 回目として平成 29 年 1 月 17 日 - 19 日と 2 月 9 日 - 11 日にモジョーパンという村で開催致しました。受講者は 1 人で成果を期待しているところです。

5. 生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用算出事業

4.の事業から有機野菜の栽培、および販売まで考えたときに、平成 28 年度は受講者の 1 部の人において産物である有機野菜の質、量は 3 倍以上に増え、収入増加に寄与しました。また、近隣の村からも栽培された作物の購入があり、他の村への効果波及も考えられるようになりました。しかし、平均的な収入源として考えたときに 4 月 5 月の乾

季の水不足など、作物栽培に影響を及ぼす事項があり、まだまだ安定した収入は得られないのが現実です。第3回目に催行したモジョーパン村では希望者が3人でしたが、実際に受講したのは1人で、その成果を待っているところです。